

# エポロRプライマー

床の  
新築・改修用

## 水系エポキシ樹脂下塗材（3成分形）

エポロRプライマーはエポキシ樹脂とセメント系骨材を混合する3成分形の下塗材です。湿潤コンクリートや若齢コンクリートとの密着性に優れています。また背面水などによる塗膜の膨れ防止対策としても有効です。

### 標準塗装仕様（素地：モルタル下地の場合）

工程	使用材料	調合比 (重量比)	希釈率 (%)	塗布量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗装回数	工程時間 (23℃)	塗装方法
下地処理	下地に付着している埃、レイトランス、油分その他を除去する。 不陸、段差、巣穴などは前もって補修する。						
下塗り	エポロRプライマー	A液:B液:粉体 1:1:2	清水 5~7%	0.40~0.60 (※1)	1 (※2)	12~72時間 (※3)	コテ・刷毛 ローラーなど
上塗り (※4)	水系塗床材：イサムフロアー-WA NEW, イサムフロアー-きれい床, イサムフロアー-WEなど 溶剤系塗床材：イサムフロアー-V (V2), イサムフロアー-PU, エポロフロアー-U, エポロフロアー-ESなど 無溶剤塗床材：エポロフロアー-ET, エポロフロアー-ETローラー用, イサムフロアー-Gハードなど						

※1 塗布量は下地の吸込み度合や状況によって多少の増減があります。

※2 標準仕様の場合には塗装回数は1回になります。膨れ防止仕様の場合には塗装回数が2回になります。

※3 工程時間は、上塗りが水系塗床材の場合12~72時間となります。上塗りが溶剤系塗床材の場合には24~72時間となります。

※4 上塗りに関しては、各材料のカタログ・SDS等をご参照ください。

### 塗装上の注意事項

1. 調合比は塗膜性能を十分に発揮するために重要です。A液とB液・粉体の調合比は厳守してください。
2. 材料の混合は、必ず電動攪拌機を用いて十分に攪拌をおこなってください。
3. 調合は、A液・B液を混合し攪拌後、粉体を投入し再度攪拌を行ってください。
4. 調合した材料は、可使用時間（23℃時1時間）以内に使い切ってください。特に夏季は硬化が早くなるので注意してください。
5. 下地に水分が残っている場合には、希釈量を調整してください。
6. 油分が残ったまま施工をすると、密着不良になる場合になる場合があるため注意してください。
7. 夏季などの炎天下など床面の温度が高い場合には打ち水などで冷やして施工してください。
8. 標準塗布量の範囲で、ダレ、塗り残し、スケのないように均一に塗装してください。
9. 標準塗布量以上の厚塗りは避けてください。乾燥不良やひび割れの原因となります。
10. 気温5℃以下、湿度85%以上、表面に結露が見られる場合には施工を避けてください。

### 一般性状

項目	結果			試験方法
	A液	B液	粉体	
粘度	20.2	1,200	—	mPa・S/23℃
比重	1.06	1.17	2.3~3.0	比重カップ法 (23℃)
加熱残分	75%			JIS K 5601
貯蔵安定性	異常なし			6ヶ月貯蔵 (30℃)
可使用時間	1時間			23℃
硬化時間	24時間			23℃

### 荷姿

材料名	容量		標準塗り面積
エポロ Rプライマー	16kgセット		26m <sup>2</sup> ~40m <sup>2</sup> /セット
	A液	4kg	
	B液	4kg	
	粉体	8kg	

